

富里市・酒々井町による学校給食 センターの共同利用について

富里市学校給食センター



- 富里市学校給食センターは、老朽化した二つの共同調理場を統合して建て替えた施設で、平成26年9月から給食の提供を開始しています。
- 1日当たり、最大4,500食の調理規模で設計された施設であり、令和6年度は、富里市立小中学校及び市立幼稚園に約3,500食の給食を提供しています。
- 少子化による児童生徒の減少傾向に伴い、調理設備の余力が生まれてきたことから、その活用方法の検討を開始いたしました。
- 活用方法の検討に当たっては、①高齢者向け弁当、②市内福祉施設への給食提供、③市立認定こども園への給食提供、④老朽化等で学校給食施設の更新を必要とする近隣市町への給食提供について検討を行いました。
- 検討の結果及び合理性の評価から、本来の学校給食機能を活用することが最善であると判断し、老朽化等により学校給食施設の在り方を検討されていた酒々井町と協議を進めてきました。



- 酒々井町との協議に当たり、両市町で構成する「富里市・酒々井町学校給食センター共同利用検討会」や調理業務等委託事業者を交え、共同利用を行った場合のシミュレーションを行い、追加が必要な設備や食材の調達、献立立案などについて検討を行いました。
- 検討の結果、一時的には初期費用の投資が必要となるものの、運営経費の削減により、初期費用の回収が可能であることが確認できたことから、両市町による本格的な協議を開始いたしました。
- 令和6年6月24日に「学校給食事務の委託に関する協定」を締結し、「共同利用開始日」、「初期費用の負担割合」、「共同利用開始後の調理業務等委託料及び経常経費の負担割合」などについても、両市町で合意に至りました。



2

共同利用開始日について

- 当初予定のとおり、令和7年9月2日（火）の共同利用開始に向け、準備を進めています。

3

調理食数見込み等について

- 児童・生徒・園児数（令和7年5月1日現在）

（単位：人）

	小学生	中学生	幼稚園児	合 計
富里市	1, 959	1, 107	93	3, 159
酒々井町	701	407	—	1, 108
合 計	2, 660	1, 514	93	4, 267

- 調理食数見込み

富里市	3, 550食
酒々井町	1, 250食
合 計	4, 800食



給食事前テストについて

- 8月21日（木）実施予定。
- 当日は登校（園）日とし、富里市（小学校7校、中学校3校、幼稚園2園）、酒々井町（小学校2校、中学校1校）各校（園）へ給食を提供。
- 児童・生徒・園児が家庭の事情等により欠席した場合は、欠席扱いとはなりません。

調理業務等委託契約について

- 令和7年5月入札実施
6月2日契約締結 株式会社東洋食品（現在、富里市及び酒々井町の調理業務等を受託している事業者）



富里市産・酒々井町産食材の使用について

- 富里市学校給食センターでは、地産地消の観点から市内産の食材を積極的に使用しており、野菜・精肉の使用割合は47.6%です。
- 酒々井町産の食材（米・野菜・手作り味噌）の使用及び使用頻度については、富里市・酒々井町で協議し合意済みです。
- 酒々井町産食材の使用頻度については、事業者からの申出により、まずは月に1～3回程度から始め、今後量を増やすことを検討していくことになりました。

給食残菜のリサイクルについて

- 共同利用開始以降の給食の残菜等については、千葉市にある食品リサイクル施設へ搬入し、リサイクル処理（メタン化）を行うことについて両市町で合意しました。現在、食品リサイクル事業者との契約や千葉市との事前協議などの手続を進めています。
- 富里市・酒々井町は、それぞれ食数按分した運搬・処理費用を負担します。



- 共同利用の開始を契機として、富里市・酒々井町の子どもたちに富里市学校給食センターに親しみを持っていただくとともに、学校給食に対する関心を高めるため、両市町の児童・生徒から給食センターの愛称を募集します。
- 募集期間：令和7年6月9日から7月11日まで
- 募集対象：富里市立及び酒々井町立小・中学校の児童・生徒
- 募集方法：学校を通じて応募用紙を配布・回収
- 採用作品の決定
市長・町長を含めた審査会で採用作品を決定
- 愛称が採用された児童・生徒には、賞状及び記念品を贈呈
- **8月19日（火）賞状贈呈式を富里市学校給食センターにて開催予定**

